

ネット銀行の登場による地方銀行の在り方

佐藤ゼミA

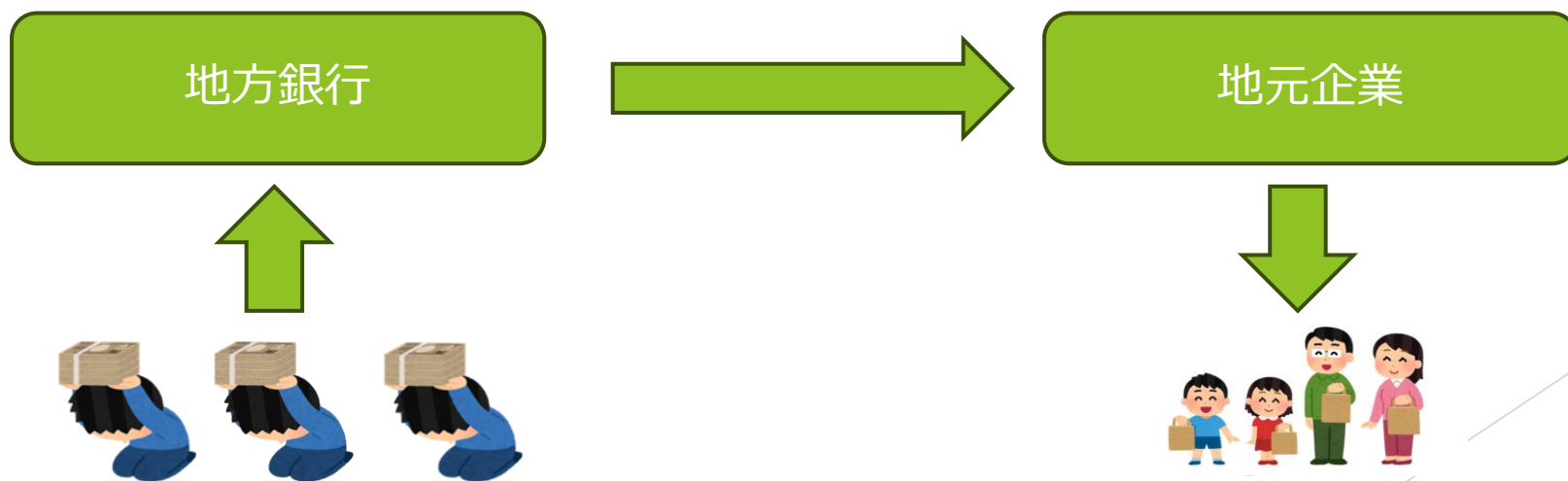
加藤優 服部晃 安藤柚生 田中朱音

はじめに

- ▶ 近年の地方銀行では本来の役割とされている中小企業への貸出に加え**個人向けの貸出**へと力を入れるように変化してきている。そのような状況下の中2000年に個人向け貸出を主な利益とするネット銀行が登場する。
 - ▶ 個人向け貸し出しの中で物価上昇などにより住宅資金の残高が増加傾向にある**住宅ローン**に重点を置く
- ↓
- ▶ 両者の収益源の対立による地方銀行の衰退化を解決すべく、地方銀行がどのような戦略をとっていくべきなのかを考察

地方銀行とは

- ▶ 地域を営業基盤とする銀行のうち全国地方銀行協会に加盟する銀行。
(岐阜で言えば十六銀行、大垣共立銀行)
- ▶ 中小企業への貸し出しを主な目的として創設された。
- ▶ 主に地元エリアを中心に展開し地元の人から集めた預金を地元の企業への融資と回すので**地域密着型**とされている。



地方銀行成立背景

- ▶ 地方銀行は1938年に行われていた戦時統合によって地方に散らばった小規模の銀行が**統合**されてできた銀行である。
- ▶ なぜ**統合**する必要があったか、それには戦時に使用される兵器を生産する工場へ融資するには多額の資金が必要だった。

↓**一県一行主義**へとつながる

- ▶ 一見一行主義とは一つの都道府県に対し一つの地方銀行と制限し中小銀行を統合し一つにまとめるといった政策。
- ▶ そして1968年に銀行の効率化を図るため合併転換法一県一行主義は**撤廃**される。

地方銀行の業務内容

- ▶ 基本的な業務は預金業務、為替業務、貸付業務などほかの銀行と大差はない。
- ▶ 企業の生産性の向上や企業ごとの課題解決のフォローなどを行っている。
- ▶ 地方銀行がもともと力を入れていたのは企業への貸し出しだったが、近年では**個人向けのサービス**に力を入れている
- ▶ 個人向けサービスの例として住宅ローンがある。地方銀行では地元の不動産市場に合わせた住宅ローンを提供し、金利や返済期間返済方法などが選べるプランがある。

地方銀行の顧客層

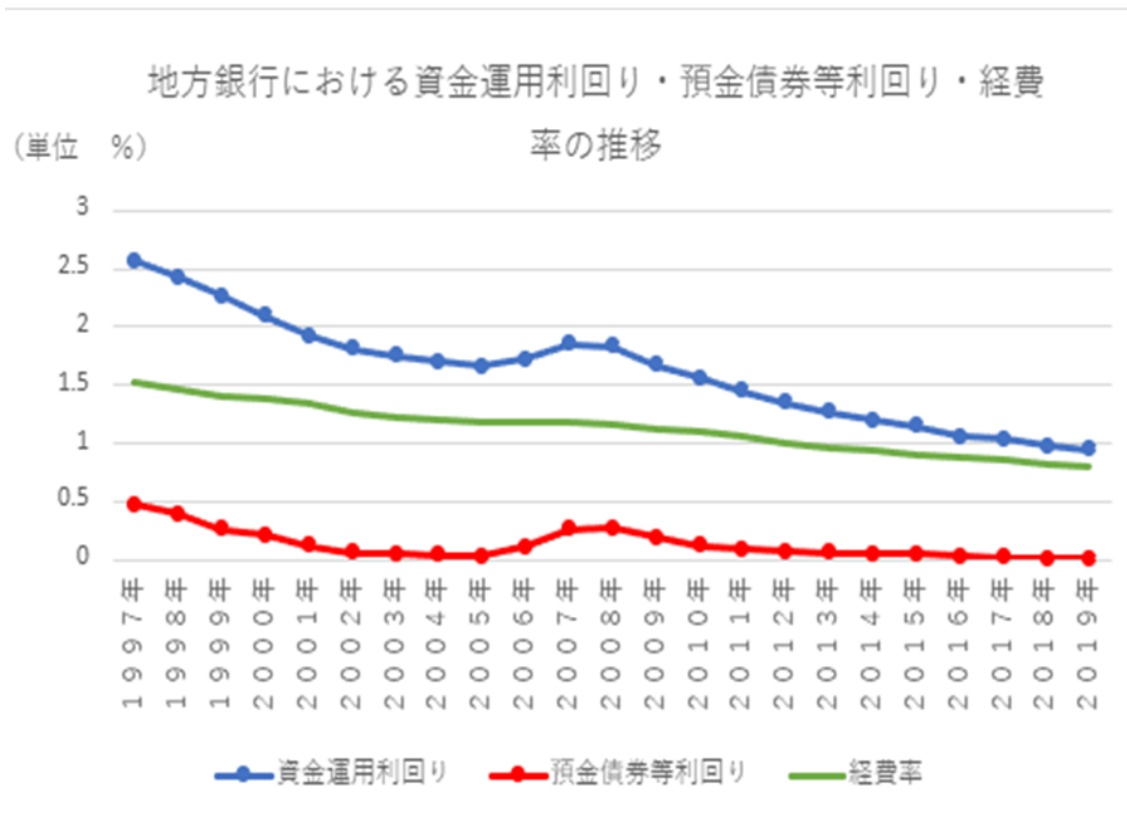
- ▶ 地域において少子高齢化問題から地域の利用世帯自体は減っているものの、利用している**高齢者世帯**が現在も多い。

(岐阜県の65歳以上の単独世帯が一般世帯に占める割合は11%、また高齢夫婦のみの世帯が一般世帯に占める割合は21.4%となっている)

- ▶ 一方若者の世帯では人手不足を背景に共働きのような働き方の変化によって世帯の所得を上げている。
- ▶ 地方銀行の将来性を考え、新居建設や資産形成の面から、若者世帯の顧客増加を望んでいる



地方銀行における資金運用利回り、預金債権等の利回り、経費率の推移



- ▶ 以前は貸出金利から経費を引いてもそれなりの利益があったが、近年では貸出金利で得た利益をほとんど経費で使ってしまった。
- ▶ 新規参入したネット銀行では実店舗を持たないことで経費を削減し利益を上げている。

ネット銀行とは

- ▶ 簡単に言えば実店舗を持たない銀行
- ▶ 2000年に初めて三井住友銀行の傘下であるジャパンネット銀行が設立される（現在のPAYPAY銀行）
- ▶ 振込、口座管理などが24時間いつでも可能。また、口座開設、ローンの申し込みなどがオンライン上で完結する。
- ▶ 手数料が安い、高金利
- ▶ 円以外の外貨を預け入れることが可能



ネット銀行の成立背景

- ▶ かつては**護送船団方式**とよばれた行政が特定の業界を保護し競争を制限し安定した秩序を保つ方法が取られていた。
- ▶ しかし1990年代先進国で**金融の自由化**やグローバル化が進む中日本は上記の政策により制限されていた。
- ▶ **金融の自由化**をすることにより市場の判断によって金融商品を自由に提供することができ、また国際的な市場層へと参加できるようになった。
- ▶ 異種業からの普通銀行の新規設立の希望が表明されたことから2000年8月に異種業による銀行業への参入に関するガイドラインが設立され最初のネット銀行が設立された（ジャパンネット銀行）

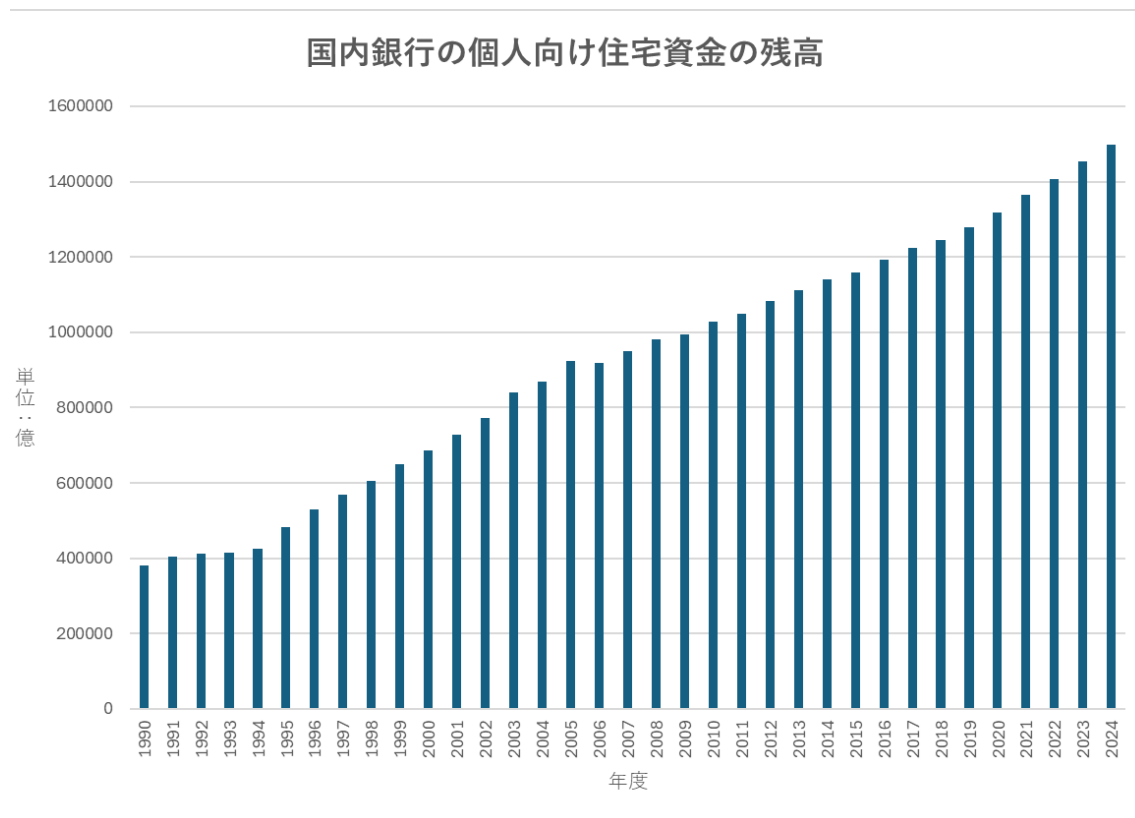
ネット銀行の業務内容

- ▶ 基本的な業務は**預金業務**、**貸付業務**、為替業務など
- ▶ セブン銀行を除くその他の銀行では貸し出しや有価証券による資金利益の割合が多いため、**貸付業務**に力を入れていると汲み取ることができる。
- ▶ またネット銀行の特徴としてインターネットを通じて口座開設や入出金などの取引を24時間365日できるという点と、実店舗を持たないという特徴から経費が削除でき金利を高く設定できる点から、**預金業務**に個性的な面があると言える。

ネット銀行の顧客層

- ▶ My Voice のアンケート調査によると利用者数が多いのは会社員などの**中年男性層**であり勤務時間終了後でもパソコンやスマホなどから利用できる点と、手数料が安いいため利用率が高くなっている。
- ▶ 利用したことがないと回答した割合が多かったのは女性の10代・20代、70代で4割という集計結果となった。

国内銀行の個人向け住宅資金の残高

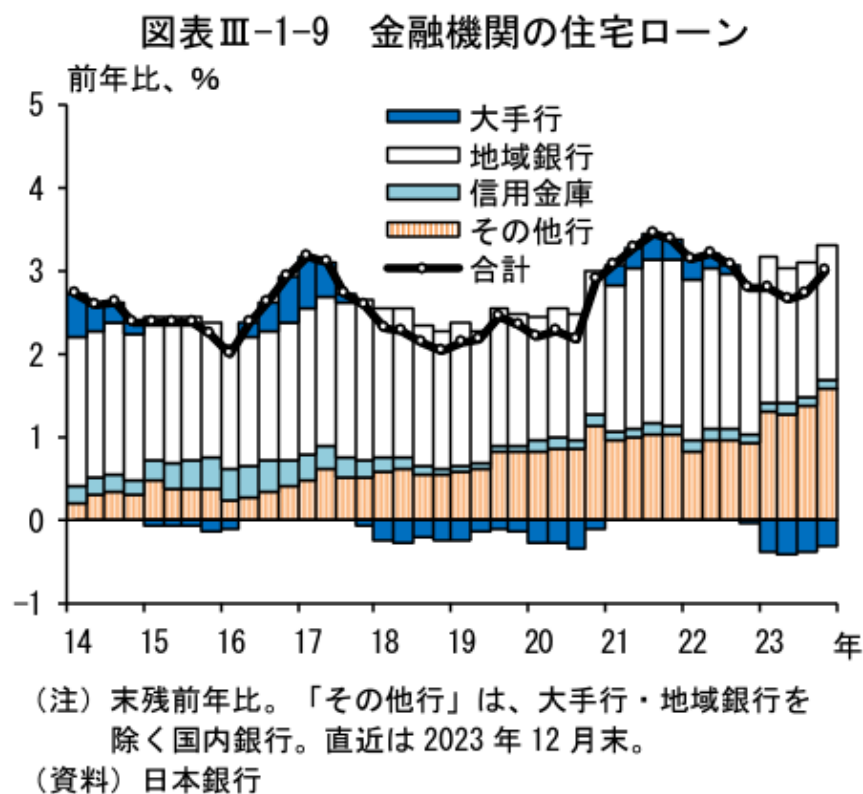


日本銀行 時系列統計データの国内銀行の個人向け貸出金の残高をもとに作成

- ▶ 物件価格の上昇を背景に一件当たりの借入額が大口化していることから残高は増加している。
- ▶ 大手を除く各金融機関は貸出金が多い住宅ローンでの利益を目指す傾向

金融機関別住宅ローン

- ▶ 近年の金融機関における住宅ローンの割合は地方銀行は横ばいなのに対しネット銀行は年々割合を増加させてきている
- ▶ ネット銀行が割合を増加させている理由として、は大幅な金利優遇策を行っているという背景がある。
- ▶ 例として十六銀行の住宅ローン金利は「金利選択型・変動」の場合店舗表示金利は年2.625%であり12/2現在のWEB契約金利は年**0.725%**となっている、PayPay銀行の場合基準金利は年2.23%と大差はないが、12/2現在のキャンペーンで**年0.42%**となっている。



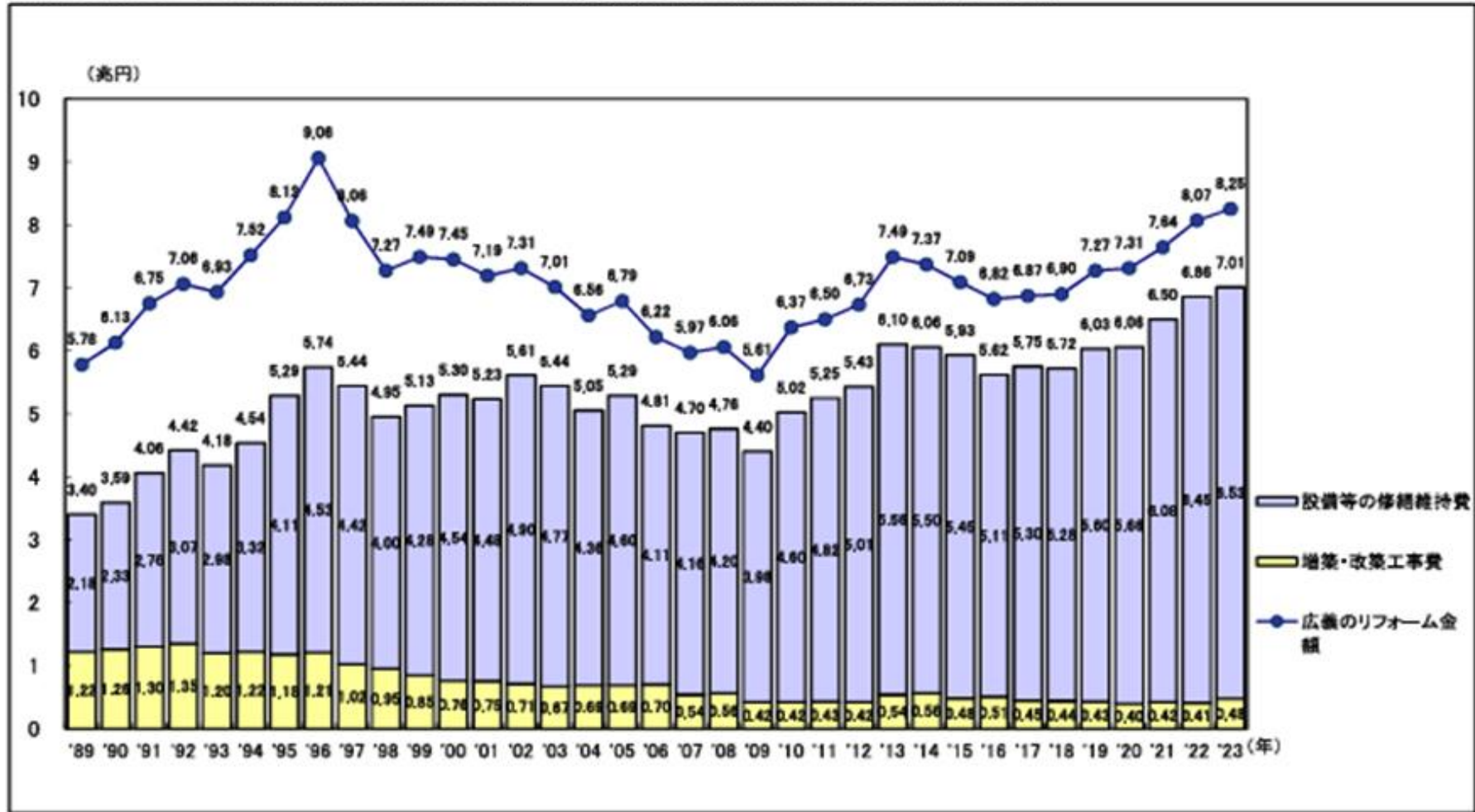
十六銀行の住宅ローン関係サービス

	店舗表示金利	店舗契約金利	WEB契約金利	
変動金利	年2.625%	年0.775%	年0.725%	▶ 変動金利をベースに、借入期間中に変動金利と固定金利を選択できる「金利選択型」と借入全期間固定金利の「超長期固定金利型」を用意している
固定金利（10年） （二段階優遇型）	年3.45% （Aコース） 年3.45% （Bコース）	年1.25% （Aコース） 年1.15% （Bコース）	年1.20% （Aコース） 年1.10% （Bコース）	▶ 店舗契約以外にWEB契約を可能としておりWEB契約をした場合店舗契約と比べ金利が少し安い ▶ 変動金利型か固定金利型かどちらがあるか、将来のライフイベントに備えた相談などが行えるローンサービスセンターが日曜日でも相談可能
全期間固定金利 借入期間 11年～35年	不明	年2.42%	年2.42%	

住宅リフォームの市場規模

公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センターで集計した「住宅リフォーム市場規模(増築・改築工事費及び設備等の修繕維持費の合計)」は、2023年で7兆100億円である。

なお、住宅リフォームを広義に捉えた「広義のリフォーム市場規模(注①)」は、8兆2500億円である。



注) ①「広義のリフォーム市場規模」とは、住宅着工統計上「新設住宅」に計上される増築・改築工事と、エアコンや家具等のリフォームに関連する耐久消費財、インテリア商品等の購入費を含めた金額をいう。

②推計した市場規模には、分譲マンションの大規模修繕等、共用部分のリフォーム、賃貸住宅所有者による賃貸住宅の修繕維持費は含まれていない。

③本市場規模は、「建築着工統計調査」(国土交通省)、「家計調査年報」(総務省)、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(総務省)等により、公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センターが推計したものである。

住宅ローンに おける対策案

- ▶ 地方銀行では実店舗を持っている関係上、経費面から見てもこれ以上住宅ローンの金利を下げることは不可能であり、新規住宅ローンにおいてネット銀行と真正面から対立するのは現状厳しい
- ▶ 地方銀行ではの主な顧客層である高齢者世帯に向けた住宅リフォームに関する業務サービスを展開していく必要があると考える。

住宅リフォームどんな取り組みを行うべきか

- ▶ 民間企業との提携することにより住宅リフォームローンの金利を低く抑えることができ、またローンにかかる審査などを簡易的に行うことができるといったメリットを利用者が受けられる
- ▶ 住宅リフォームを行うのは築年数がたった家などに住む高齢者が多いことからWEB申請や店舗申請の他に、自身の自宅で手続きを済ませることができる**在宅訪問サービス**を行うことで顧客満足度の向上を促進させる。

まとめ

- ▶ 地元企業への融資の面ではネット銀行にはできない地域のニーズに合ったアプローチにより地元企業の事業をサポート
- ▶ きめ細かいフォローができるというの地方銀行の他にはない強みである。
- ▶ 個人向けサービスの面では、全年齢対象向けではなく特定の年齢層を絞りそれにあったサービス展開をするべきである。またネット銀行にはない対面でやり取りができるという特徴から新たなサービスへと繋げていくことが今後の運営へとつながっていくと考察する。

参考文献

- ▶ <https://www.boj.or.jp/research/brp/fsr/fsr240418.htm> 日本銀行金融システムレポート 2024年4月号 (参照2024-12-02)
- ▶ <https://www.robotpayment.co.jp/blog/payment/6953/>
Finance & Robotics 今やもう当たり前？ネット銀行決済のメリット・デメリット (参照2024-12-02)
- ▶ <https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/report/researchfocus/pdf/14667.pdf>
日本総研 大嶋秀雄 地方のリテールバンキング市場の動向と地銀に求められる戦略 (参照2024-12-02)
- ▶ https://myel.myvoice.jp/products/detail.php?product_id=30608
My Voice インターネットバイキングの利用に関するアンケート調査 (第25回) (参照2024-12-02)
- ▶ https://www.zenginkyo.or.jp/fileadmin/res/news/news241238_5.pdf 個人での銀行の利用実態と評価 (参照2024-12-02)
- ▶ https://www.paypay-bank.co.jp/mortgage/ad/affiliate.html?r=HLJNZJ0914&c=afbn_z_j&a=VC00014
Pay Pay銀行住宅ローン (参照2024-12-02)
- ▶ <https://www.juroku.co.jp/loan/myhome/> 十六銀行住宅ローン (参照2024-12-02)
- ▶ [https://www.stat-search.boj.or.jp/ssi/cgi-bin/famecgi2?cgi=\\$nme_a000&lstSelection=LA01](https://www.stat-search.boj.or.jp/ssi/cgi-bin/famecgi2?cgi=$nme_a000&lstSelection=LA01)
日本銀行時系列統計データ 検索サイト 国内銀行の個人向け住宅資金の残高 (参照2024-12-02)

参考文献

- ▶ <https://www.zenginkyo.or.jp/stats/year2-02/> 一般社団法人 全国銀行協会
各種統計資料 (参照2024-12-02)
- ▶ <https://www.chord.or.jp/documents/tokei/index.html#num2> 公益財団法人
住宅リフォーム・紛争処理支援センター 住宅リフォームの市場規模 (参照
2024-12-02)
- ▶ <https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/344180.pdf>
岐阜県ホームページ 第1部岐阜県の現状 45、47ページ (参照2024-12-05)